



↑ ↑ ↑
こちらのコードから色鮮やかなカラー版をご覧ください。



水谷公民館だより

編集 水谷公民館だより編集委員会
発行 富士見市立水谷公民館 住所 富士見市水谷1-13-6
TEL 049(251)1129・FAX049(255)9886・✉ fkm-mi@coral.ocn.ne.jp

SDGs

私たちにできること



異常気象、感染症、環境変化などなど、最近なんだか地球がおかしい…と感じていませんか？
その他にも、戦争、貧困、飢餓、さまざまな危機感の中で生まれたのが、SDGs「人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき開発目標」です。簡単に言うと、私たちが生きていくためのナビゲーションでもあるのです。
では、私たちにいったい何ができるのでしょうか？よく考えてみると、できていたこともあるんです。暮らしの中で、できること、ちよつと考えてみませんか。
編集委員 柴田妙子

日々の暮らしの中に

お米や野菜などの地産地消を心がけることは、輸送で発生するエネルギー消費やCO2の排出量が削減され、環境負荷の低減につながります。

また、省エネや節水を意識することはもちろん、買いたくない、作りすぎない、食品保存の工夫、食べ残しをしない…など、食品ロスの問題は、環境、経済、社会にも影響を与え、SDGsの17項目すべてにつながっているとされています。

目標が大きすぎることに目をそらすのではなく、国や企業の問題だから…でもなく、身の回りの小さなことの中にもたくさんあるはずですよ。

また、その中に、もうすでに出来ていることがあります。ありませんか？あなたの今できていること、これから目標にしたいこと…参考にしてみましょう！

- 買いたくない。
 - 作りすぎない。
 - 食べ残しをしない。
 - 衝動買いをしない。
 - こまめに蛇口をしめる。
 - お風呂の残り湯を洗濯に使用する。
 - 油污れは流さない。
 - 電気はこまめに消す。
 - LED電球に変える。
 - 近くは徒歩や自転車です。
 - 定期的な健康診断。
 - 廃油回収に協力する。
 - マイバッグ、マイ箸、マイボトルを持つ。
 - ゴミの分別をしつかりとする。
 - いじめ、差別をしない。
 - 男女差別はしない。
 - 家事、育児は分担する。
 - グリーンカーテンを育てる。
 - 環境汚染や健康に留意した商品を選ぶ。
- ※「SDGs」につきましては、外務省ホームページを参照ください。



など

孫から学ぶSDGs

水谷地域にお住まいの方がいました。

SDGsが耳に馴染むようになって始めたことは、スーパーで賞味期限を考慮するようになったことですね。二人家族ですぐ消費するものは、手前から取るようにして、あまり使わないものは、小袋を選びます。また、夏場は便座のコンセントを外し、待機電力を減らすことも心がけています。

娘は、子どもに水道を出し過ぎないように、小さいころから教えているようです。ときどき、バアバの私が孫に叱られます。資源の大切さを伝えていかなければいけないと思います。

(水子在住 Oさん)



CO2の排出、気になります

基本エアコンも車もできるだけ控えています。今年の猛暑では、そういうわけにはいきませんでしたけどね。熱中症が怖い…。外出は、近場なら運動がてら徒歩や自転車です。自分の足で歩けること、大切ですからね。車もまだまだガソリン車が主流、排気ガスの問題もなかなか改善されませんね。一人ぐらいが努力してもどうにもなる問題ではありませんが、そういう意識を持つことが大事だと思います。

(水谷在住 Kさん)



野菜を使い切る

食品のロスには気を使っています。カブや大根の葉を刻んで炒め、小分けにして冷凍庫で保存。炒飯の具や、納豆と混ぜたり、味噌汁にチヨイ足しするなど活躍します。

また、普段は捨ててしまいう大根の皮をつかってきんぴらもつくることができます。

先日ひとり暮らしの方が3パックの納豆は使い切れないので、捨てる羽目になると聞いて、冷凍保存をオススメしました。

(水子在住 Sさん)



大根の皮できんぴら

SDGs17の目標

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナースhipで目標を達成しよう



廃食用油の回収に取り組んでいます

市では、可燃ごみの削減と資源リサイクル意識向上のため、市役所(環境課)、水谷公民館、ふじみ野交流センターの3カ所、家庭から排出される使用済み食用油の回収を令和5年6月より始めました。

菜種油、サラダ油などの液体の食用油が対象です。回収の際は天かすなどを取り除き、ペットボトルや食用油の使用済み容器に入れて持参してください。

回収した油は、主に印刷用のインクに再利用されます。

各回収場所にお持ちいただき、窓口の職員にお声かけください。



【問い合わせ】

市環境課資源リサイクル係
(049-252-7100)

詳しくは、こちらのコードからホームページをご覧ください。

